



# 不知火憚3

成人向



前回までのあらすじ

山崎の追跡調査を失敗した不知火舞は山崎と交戦するものの『秦の秘伝書』を手にした山崎の前に完膚なきまでに敗北しその身を徹底的に陵辱される

この調査を舞に依頼した依頼人でもあるB・マリーもその場に駆けつけるが山崎に舞を人質にされ手も足も出ず舞が味わった以上の暴力と陵辱の前に長期間の戦線離脱を余儀なくされてしまう

己の不甲斐無さを噛み締めながら山崎への報復を誓った舞は山崎が再び身を隠した裏社会との接触を計ろうと単身行動を起こす――



あたしにあれだけの事したんだもの  
普通なら報復を恐れて  
こっちからの呼び出しに  
簡単に応じるとは思わないのが  
当たり前でしょう。



ああなるほど…  
そういう事ですか

正直その点は  
全く心配してません  
でしたよ



現にそうでしょう。

貴女からしたら今すぐにでも  
私を殴り飛ばしたいはずで  
…でも貴方はそれをしない…



更に言えば敗者復活戦から  
かなりの時間が経っているのに  
その間貴女は私への報復行動を  
一度も起こさなかった…

これは貴女の  
格闘家としての矜持が  
許さないからですよね？





それはそうですよね  
少なくともあの試合で貴女は  
1対1で正々堂々戦って  
負けてしまった結果  
公開競争になったのですから…

その報復を対戦相手に勝利する前に  
KOF運営に行うのは  
格闘家として筋違いという物です—  
試合に負けたボクサーが  
レフリーを殴る様なものですかね



うるさいわね!  
そこまで分かってるなら  
もういいでしょう!!!

もし報復をしたら  
格闘家以前に貴女の  
人間性が問われ—



ガッ  
ガッ  
ガッ

…で?  
今回のご用件は?





—あいつの…

……耳の早いK.O.F.運営なら  
とっくに知ってるんでしょう？

あたし速に何が  
起こったのか……

山崎の居場所を  
教えて……!!!



……まず単刀直入に  
申し上げますと……



残念ながら我々の  
情報網を持ってしても——

現在山崎氏の動向は  
掴みきれれておりません……

——ですが一つだけ……

山崎氏の手掛かりを  
掴めるかもしれない仕事なら  
ご紹介出来ます——



この仕事の取引相手はJ・ホアン様  
貴女ならご存知だと思いますが  
裏の世界の重鎮の御一人で  
山崎氏とも長い親交のある御方です

何より御先方は先日貴女が出た敵者復活戦を  
ご観覧された御客様の一人ですから  
山崎氏の友人というより  
貴女のファンと言った方が正しい御方です

……全く  
嬉しくない話ね……

勿論親交と言っても  
あくまで仕事に限っての話で  
今回の貴女方と山崎氏の  
因縁は把握されてません

ちなみにK.O.F運営が御先方に  
提案したお話は  
あくまで貴女が個人的な経済事情により  
「支援者」を雇っていたので  
仲介したいという話のみです

それ以上の話は  
御先方にしていませんし  
これ以上はK.O.F運営  
という立場上  
貴女に一切協力出来ません

……つまり  
あたしの体で  
相手から情報を  
引き出せ……って事ね

いつもならいくら積まれても  
断るふざけた仕事だけ……



一つ…聞いても  
いいかしら？

何なりと



今は手段なんか  
選んでられない…



仲介だけとはいえ  
ここまで協力して  
くれるのは何で？

基本的に中立でしょ  
あなた達の立場って—



こういう行動は  
K.O.F運営にとっても  
急ない機に思えるけど？

…ギース氏の死後、「秦の秘伝書」は  
Rコロクソンの「ドット」  
K.O.F運営が管理を任されていたのですよ…



しかし…それを山崎氏が  
強奪した…

ここまでお話しすれば後は  
お分かりになりますか？

…ギースの死後  
長い間所在不明となっていた秘伝書を  
山崎が持っていたのは  
おかしいと思ったけど…  
…なるほどね…



秘伝書は取り返したいけどK.O.F期間外は  
K.O.F運営から選手へ不干涉の規約がある以上  
運営が表立っても動く訳にはいかず参った所へ  
あたし達と山崎の衝突が起きたから  
それを利用しようって魂胆か…



どのみちこの件はあたし一人の手で  
決着を付けたいと思つてたから  
邪魔が入らないのは好都合だけど…



J・ホアンと言えは  
かなりの高利のはず

虎穴に入らば  
何とやら…

そうなると思つてはアーン自身が  
あたしを助けたんだけどね  
別の目的があると思へばかしたらね…  
「ロクなもんじゃないのは想像つくけど」



あそこが  
宝山ビル…



まあ…いいわ

…すまないね  
屋上からの来場を  
要望してしまつて…

何分五階から来られて  
君との接触を誰かに知られると  
色々面倒な立場なのでね…



とにかくよろこび  
いらつしやうてくれた



ニヤッ

ミス・シラヌイ…

…招待  
感謝します…

どんな事をしてでも  
山崎の手掛かりを  
握んでみせる…



ミラ…

ミスター・ホアン…



お孫さんの筆下しを  
あたしが…ですか？

流石裏社会の重鎮  
まるで高級客室ね…



だが心配は無用  
これも私なりの  
帝王学の一つだね



ほう…意外と純情  
なのだね？

…あ…あたしは仕事ですから  
特に構わないですけど…  
そんな初体験をいいますか？  
本人の意思とかも…



うむ…もちろん孫といつても  
早くに面観を亡くしてからは  
私が育てたので  
私にとっては息子同然であり  
跡継ぎでもあるのだが…

その孫も年頃になつたので  
君の手で…女の味を覚えて  
やうてほしいのだよ



だから君はその美しさと  
持てる女の技術の  
全てを注いで…

孫に本当の女の味を  
教え込んで欲しい



孫の様に生まれつき  
組織の長になる  
運命にある者は…

若い内から  
長としての自覚と自信を  
身に付けさせる為にも…

常に最上の物を  
味わうべきだと  
私は考えているのだよ

それが初体験であるならば  
尚更極上の女を…ね  
…はい…



…分かりました

…心底バカけた  
帝王学ね…



そうそう…君の仕事ぶりを  
孫から聞いた上で  
追加報酬を上乗せするから  
存分に頑張ってくれたまえ

無駄にやたら  
アカイベツドね！

直接交渉に持ち込めるのは  
もう少し先になりそうね  
…まあ仕方ないか

それにしても孫の輩降りしを  
させられるなんて  
意外だわ(勿論嫌な事だけど)

余計な物は  
外しといった方が  
いいかな…

正直もつとヤバイ要請を  
されるかと思ってただけに  
…輸送とかSM調整とか…

…でもこれはハツキリ書くて  
好機よね…重貞の相手なんか  
簡単な事だし…何よりも…

孫を懐柔しちやえば  
この後の交渉を有利に  
進めやすくなるもの！

でもあんなホッパンの孫だから  
ヒキくれた可愛げのない  
ガキなんだらうな…

ウァーン

そつと決まれば  
やる事は一つ…

例えどんな子が  
相手でも…

しつ…  
失礼します

スウ

不知火流の真中術を  
駆使して絶頂させ尽く…

お…遅くなってすみません  
お…お風呂で体を  
きれいにしたので…

オド  
オド

お  
お

…ツ  
!!?

お  
お





あたしにとって仕事でも  
この子にとっては一生に一度の  
大事な初体験……

適当にあしらいながら  
慣れさせるつもりだったけど  
予定変更……



アッ……



ちゃんと可愛がって  
良い思い出作って  
あげなくちゃ!



へー!? もうあたしの  
名前知ってるんだ?

し……不知火  
さ……ん??

それじゃ  
一つ教えてあげる――

こういう時は  
相手を名前で呼ぶのが  
礼儀なのよ?



コソコソ









それじゃ後はあたしに任せて

君は楽にしてあげようよ



ウフフ……いいからいいから



接吻くらいは本当に好きな子との時の為にと……ときなさい

……顔に似合わずコレはいい形ね……

は……は……





本当可愛い反応

ココは自分でも  
弄った事無いでしょ？



そ…尿道…舐め  
た…ら…あぁ…!!

もう…そんなに  
喜ばれたら…!!



もっと鳴かせたく  
なっちゃうじゃない？















……とはいえ

そろそろアレが効いてくる頃だ…

コリーにとつてはここからが本当の本番だ—



攻めてるあたしの方が—

…???

先に絶頂ッてんの？  
軽くだらたけと…



—あ…あれ？

何いぞ…



君は余計な事  
考えずに楽にして  
なさ……

そ……そうよ  
たまたま肉棒が  
良い所に当たっただけ……

う……うん  
何でもないわよ



ま……舞さん  
どうかしましたか？

えっ!!



ツツツ!!!?



ま……間違いないわ……  
「……それ……」……

あたしの体が  
敏感になつてる……!!!



ま……また  
絶頂っちゃった!?

しかもさっきより  
深い絶頂で……





す……少し  
休憩……

嬌柔でも使わない  
限りありえな……



嬌柔……



……

ちよ……ちよと  
ゴメンね……

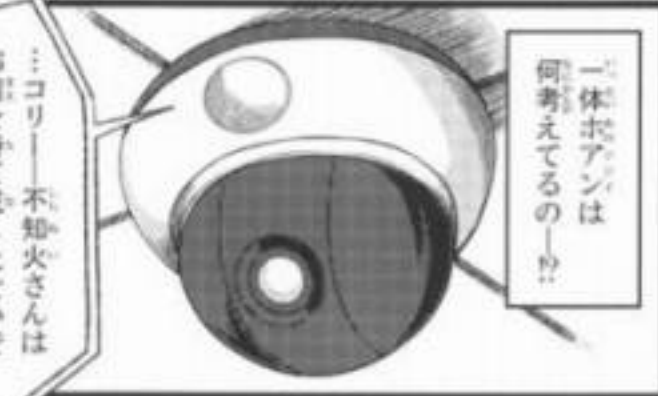
いくら何でも……まで  
絶頂……



ま……まさか  
あの時のシャンパン……

でも何で  
そんな事を……

ここからはお前が  
不知火さんを  
持て成してあげなさい



一体ホアンは  
何考えてるの……

……コリ……不知火さんは  
お前を持て成したせいで  
少々お疲れの様だから……



……この声はホアン……

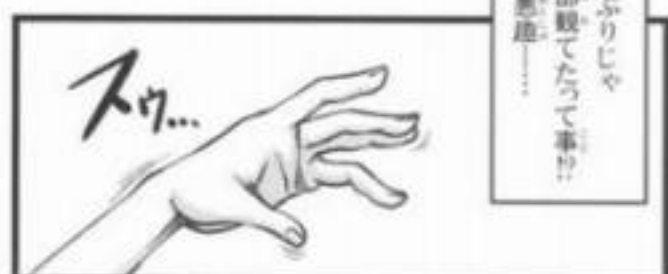


キヤン……



女性を悦ばして  
こそ男だ……

今の話……ふりじゃ  
ずっと全部観てた……事……  
な……何て悪態……



フワ……







な…何なのよ  
これ…!!

こんな稚拙な愛撫でも  
頭の芯まで  
響いてくるなんて……

いくらコリーの初体験を  
飾る為とはいえ  
痛くて壊れてくれる様な女を  
宛がう訳にはいかんからな

あれくらいは  
痛張ってもらわんと  
不知火舞を  
買った意味がない……

どんだけキツい  
嬌業盛ったのよさげ!



あー…腫れが  
分からないのか



いっ…いっ  
捧れますね!

正直コリー君に事情を話して  
中断を申し出たい所だけど……

ここまできてコリー君に  
御掛け焼らわせるのは  
流石に酷よね……



仕方ないなあ……

……まったく……









—おかしいですね…  
まるでベースを  
崩す気配が無い…

もしかしてあの女…娼業が  
効き難い体質なのではないか？  
普通ならもっとローに動けないはず

いや…娼業は  
確実に効いてるな…  
…だが…



どうやらあの女  
思考と身体を  
完全に切り離す術を  
身に付けている様だ…

あれではあの女が  
何度先に絶頂こうが  
雄として稚拙なコリーに  
主導権は握れん…



少々…不知火舞を  
甘く見すぎたな…

ほ…ほらほら  
どう…したの  
コ…コリー…君が！

ヤ…不味…  
娼業が…体中に  
ま…回り切つて

き…君も男の子なら  
ヤラれつばなし…じやなく  
少し…は強張らな…いと！

い…絶頂くのが  
と…止まらなく  
なつて…る…





こっちだって  
痛業のせいで子宮が  
降りてきちゃってー

あ…  
当たり前よ

ま…まったく  
男の子なんだ…から  
す…少しはしっかり…



君に子宮口を突かれる度に  
い…絶頂ッてんだもの…



ま…舞さ…んの腹内…  
気持ち…長過ぎ…て…  
もう…何が何…だか…

アッ  
ズッ  
ズッ

む…無理で…すま…



そ…そんな絶頂痙攣腹内で  
肉棒抜…いて…  
あけてる…んだからー

あ…あ…らあ…らあ…  
コ…コリ…君…

腹内…お…肉棒が  
痙攣…してきたわ…

こ…れくらい反応  
み…見せてくれな…きや  
コツチも痛…付くけどね











-あとがき-

初めましての方は初めまして、以前自分の本を手にとってくれた方はお久しぶりです。トンボです。  
不知火本3冊目にして少し今までうちで出した本の趣向とは少しだけ違う物を書いてみましたが、如何だったでしょうか？  
今回この様な趣向にしてみたのは、単に同人活動を始めてから(不知火無備以外も含めて)殆どヒロインがチ○ボを  
美味そうに喰ってるシーンが無いな〜…というどうしようもない理由から始まり、かといってそのシーンの為だけにアンディを  
出す気にもなれなくて(アンディを出すとお話的にも面倒になりそうです)この様な形を取ってみました。  
ついでに言いますと終盤のオチも当初の予定とはかなり違って、最初は今回登場させた童貞君にズルズルとヤられる予定だった  
のですが、描けば描くほど『これ童貞君自身にステロイドみたいなドーピングでもしない限り舞を望とすなんて無理だろ…』と  
思う様になり、この様なオチになりました。  
お陰で途中何度か書き直しを行い過去のどの同人よりも苦勞するハメに…つくづく計画性が大事だと思い知らされました。

ちなみに最後に『to be continued』と書いてますが、予定は未定です。この先の『お仕置き編』そのものは考えていて、  
本当は本編と一緒に描く予定でしたが予定ページ数の中に納まりそうもなかったので、一旦区切らせてもらいました。  
勿論続きは描きたいのですが、珍しくちょっと別の作品のネタも思い浮かんだり、私生活でも色々あり予定が立てられない状況なので、  
『to be continued?』とさせていただきます。  
尚、冒頭でBマリーが山崎にヤられたっほく描いてますが、これは本作を『不知火無備1・2』と繋ぐために急遽描いただけでして、  
『無備1・2』のどこにもBマリーの出番はありませんので、Bマリーファンの方は本作を手にとった後「不知火無備1か2には  
Bマリーの出番あるのか！それなら買うぜー！止まらないようにご注意ください」(マリーは個人的に舞と同じくらい好きなキャラなので、  
描いてみたいという気持ちはあるのですが、この不知火無備シリーズは不知火と銘打ってる以上、舞以上に目立つ形でマリーを  
描く訳にはいかないよなあ…とも思っており、非常に悩んでいます)。  
それでは今回はこの本を手にとっていただきありがとうございました。失礼します。

## ——奥附——

- 18歳未満の閲覧禁止
- インターネット上での公開、及びアップロードの禁止
- 無断転載、複製の禁止

発行 徳利屋  
発行者 トンボ  
サークル情報ブログ [http://pixiv.cc/tokkuri\\_ya/](http://pixiv.cc/tokkuri_ya/)  
MAIL [zundamochi00@yahoo.co.jp](mailto:zundamochi00@yahoo.co.jp)  
印刷 ねこのしっぽ様



山崎を追うべく危険を覚悟で裏組織との接触を謀る不知火舞だったが、組織から任された仕事は意外にもある少年の「筆下ろし」。素人相手の楽な仕事と高をくくっていたが…。



# 不知火無慚3

成人向

発行 徳利屋